

ノイルイミュン・
 バイオテック
 4893・100株
 3月29日
 東証グロース上場

山口大学 & NCC 発バイオベンチャー

CAR-T細胞療法を主とした新規がん免疫療法の開発を手掛ける。国立がん研究センター(NCC)及び山口大学発のベンチャー企業として2015年設立。2023年2月現在、自社創薬事業では5本、共同パイプライン事業では4本の開発パイプラインや他社との共同プロジェクトが進行中。

社歴の浅いバイオベンチャーで、武田薬品工業<4502>へライセンスアウトはしているが、まだ臨床試験を完了した実績がないこともあり、投資家の評価が分かれそうだ。なお、3/29は3社同時上場予定で、初値買い資金分散の影響がありそうだ。

公開規模については60億円台となる見込み。3/29に同時上場する案件がAnyMind Group<5027>と、市場からの注目が高い住信SBIネット銀行<7163>となっているため、同社への注目はやや向かいにくい可能性もある。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	3月13日
ブックビルディング期間	3月14日～3月17日
公開価格決定	3月20日
申込期間	3月22日～3月27日
払込日	3月28日
上場日	3月29日

類似会社3社PBR			
OTS<4564>	11.1倍(連)	→	57円
ブライトパス<4594>	6.6倍	→	190円
ティムス<4891>	5.5倍	→	573円

(上記類似会社はいずれも赤字予想のため、PBRをバリュエーションの参考として記載)

決算期	事業収益	業績推移 (百万円・%)		純損益	伸び率
		伸び率	経常損益		
2019/12	521	—	56	55	—
2020/12	97	-81.3%	▲604	▲636	—
2021/12	100	3.6%	▲792	▲795	—
2022/12	625	521.2%	▲384	▲386	—
2023/12予	319	-49.0%	▲1,832	▲1,834	—
2022/9 3Q	620	—	34	32	—
予想EPS／配当	単独：-円／0.00円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算				

■業績コメント

2023年12月期の業績は、事業収益が前期比49.0%減の3.1億円、経常損失が18.3億円(前期は3.8億円の損失)の見通しとなっている。

同社はPRIME技術(同社開発技術)を基盤とした自社創薬及び共同パイプラインをこれまでに引き続き推進している。

自社創薬のパイプラインNIBI02およびNIBI03については、2018年12月に武田薬品工業<4502>へライセンスアウトしており、NIBI02は2020年7月より、NIBI03は2021年12月より武田薬品が第I相臨床試験を開始している。同社リードパイプラインであるNBI01については、2022年1月に第I相臨床試験を開始した。

共同パイプラインにおいては、2019年8月にAdaptimmune Therapeutics plc、2019年11月のAutolus Therapeutics plc及び2022年8月に中外製薬<4519>とライセンス契約を締結している。また、2021年10月に技術評価契約を第一三共<4568>と締結している。

「自社創薬」と「共同パイプライン」共に、今後も各事業における既存パイプラインの進捗に伴う開発マイルストーン収入等、並びに評価契約やライセンス契約締結を含む新規契約に伴う収益の獲得をすべく、取り組んでいる。

ノイリミュン・
 バイオテック
 4893・100株
 3月29日
 東証グロース上場

基本概要	
所在地	東京都港区芝大門二丁目12番10号
代表者名（生年月日）	代表取締役社長 玉田 耕治（昭和43年3月28日生）
設立	平成27年4月16日
資本金	27億8755万円（令和5年2月22日現在）
従業員数	19人（令和5年1月31日現在）
発行済株式数（上場時）	47,429,865株（予定）
公開株式数	公募 7,850,000 株 売出 - 株 （オーバーアロットメントによる売出1,177,500株）
想定公開規模	60.5億円～69.5億円（O A含む）
事業内容	CAR-T細胞療法を主とした新規がん免疫療法の開発

事業収益構成比率（2022/12期 実績）			
品目	金額		比率
がん免疫療法創薬事業	625	百万円	100.0 %
合計	625	百万円	100.0 %

幹事証券団（予定）			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	東洋証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	あかつき証券(株)	未定	未定
幹事証券	丸三証券(株)	未定	未定
幹事証券	極東証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	水戸証券(株)	未定	未定

その他情報		
手取金の用途	(1)自社パイプラインNIB101の開発にかかる開発費、 (2)自社パイプラインNIB104以降の非臨床試験にかかる費用、 (3)新規パイプライン創製及び他家技術、培養技術等にかかる研究費、(4)運転資金に充当する予定	
関係会社	武田薬品工業株式会社（その他の関係会社） 医薬品等の研究開発、製造、販売、輸入	
VC売却可能分（推定）	-社 -株（売出し・保有期間などの制限があるもの以外）	
直近有償第三者割当	年月日	2022年8月31日
	割当先	MEDIPAL Innovation 投資事業有限責任組合
	発行価格	805円

大株主上位10者とロックアップ		
株主名	持株比率	ロックアップ
(株) 鶴亀	23.27%	180日間
武田薬品工業 (株)	19.14%	180日間
玉田 耕治 (社長)	9.88%	180日間
石崎 秀信	5.73%	180日間
Binex Co., Ltd.	5.37%	180日間
和田 聡	4.71%	180日間
瀬戸 恭子	4.71%	180日間
佐古田 幸美	3.21%	180日間
大和日台バイオベンチャー投資事業有限責任組合	3.18%	180日間
(株) アプリコット	2.84%	180日間

■ 銘柄紹介

同社は、2015年に設立された山口大学発及び国立がん研究センター(NCC)発のバイオベンチャーである。長年にわたって取り組んできたがん免疫療法の研究成果を基盤に、今以上に優れた治療効果を発揮できる次世代のがん免疫療法を実用化して多くの患者に届けることを目的としている。同社は、独自技術を活用した固形がん(※)に対するCAR-T細胞療法の開発を主たる事業領域として事業を展開している。

従来、がんに対する治療法は外科療法、化学療法(抗がん剤)、放射線療法が主な方法だったが、近年、免疫の力を利用してがんを攻撃する「がん免疫療法」が確立されてきた。本来、免疫システムはウイルスや細菌など、自分自身以外の異物を認識し、排除する働きを有しており、がん細胞を認識し排除する能力もあることが知られている。この能力を回復させたり、増強させたりすることでがんの治療を目指す創薬技術が「がん免疫療法」である。特に、2018年のノーベル生理学・医学賞の受賞により注目を浴びた免疫チェックポイント阻害薬の開発により、がん免疫療法は大きな発展を遂げた。ただ、免疫チェックポイント阻害薬にはまだ多くの課題があるため、免疫チェックポイント阻害薬とは異なる働きでがんを攻撃できるような新たな免疫療法が必要とされており、「CAR-T細胞療法」等にかかる研究開発が拡大している。

[PRIME CAR-T細胞療法]

同社は、固形がんに対して効果を発揮する次世代型CAR-T細胞を創薬するために、同社代表取締役であり山口大学教授の玉田氏らが開発した「PRIME技術」を応用している。PRIME技術とは、免疫細胞の活性化や集積を誘導するサイトカインやケモカインを産生するようにCAR-T細胞などの免疫細胞に更なる遺伝子改変を加えた技術であり、同社はPRIME技術を搭載したCAR-T細胞療法を「PRIME CAR-T細胞療法」と称している。同社ではPRIME CAR-T細胞を複数開発しており、これまでの様々な動物実験において、固形がんに対して従来のCAR-T細胞と比べて高い効果を発揮することが示されている。

[ハイブリッド型ビジネスについて]

同社は、CAR-T細胞療法等を主軸にがんの治療法創出の研究・開発を行うがん免疫療法創薬事業の単一セグメントだが、開発主導の違いから、「自社創薬」及び「共同パイプライン」の2つの事業モデルを有している。「自社創薬」においては、同社は、自社が主導して開発を進行しており、また、「共同パイプライン」においては、PRIME技術を他社にライセンスして医薬品開発を進めている。これら事業展開により、共同パイプラインを通じてPRIME技術の市場への展開や周知を加速化して早期の収益確保を図ると同時に、長期的には自社創薬により大型の販売収益を確保することにより、事業経営におけるリスク分散及びサステナブルな事業成長を目指しており、これにより、がん治療市場における競合他社との差別化を図ることができると考えている。

同社事業展開においては、「自社創薬」及び「共同パイプライン」ともに、契約締結又はライセンスアウト時における「契約一時金」、研究開発進展等の予め契約にて定めたマイルストンの達成時に得られる収入である「マイルストーン収入」、医薬品上市後の販売に応じて一定率を受領する「ロイヤリティ」等の収益獲得を基本としているが、これら経済条件については個別パイプライン毎にライセンス企業と協議の上で決定される。

2023年2月現在、自社創薬事業では5本の開発パイプラインが進行中であり、そのうち3本が第I相臨床試験へ進んでいる。共同パイプライン事業では、4本進行中となっている。

(※)固形がん：塊を作って増殖するがんで、がんの中では血液がん以外のものを指す。患者数では、がん全体の約9割を占める。

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp